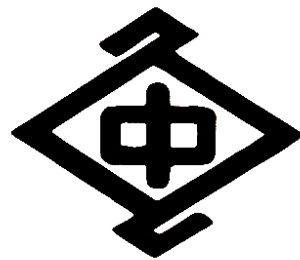


学習のてびき

(令和6年度)



真庭市立久世中学校

授業について

中学校生活で一番大事なことは、授業を大切にすることです。授業を大切にすると生徒は、授業がよく分かるようになり、中学校生活がとても楽しくなります。また、将来の進路を決めるときに、自分の希望する進路を幅広く選べることに繋がっていきます。そこで、久世中学校では、次のようなことを大切にしています。

授業前

- 教科書・筆記用具・ファイル・タブレットなど必要な道具を準備しておく。
- 忘れ物がある場合は、教科担当の先生に伝える。
- チャイムが鳴る前に着席する。

授業中

- はじめと終わりには気持ちの良いあいさつをする。
- 落ち着いて学習に取り組む心構えを整えるために、立腰・黙想をする。

立腰…右の図のような姿勢をとること。

黙想…目を閉じて静かに考えにふけること。

どちらにも、心を落ち着け、頭をはっきりさせ、集中力を高める効果があります。



<一斉学習の場面> (例)「先生の説明を聴く」「友達の見解を全体で共有する」

- 私語をせず、話し手の方を向いて聴く。
- 発表するときには手を挙げ、語尾まではっきり話す。

<個別学習の場面> (例)「演習問題や制作に取り組む」

「資料やタブレットを使って調べ自分の考えをもつ」

- いろいろな方法で試行錯誤する。
- 相手に伝わりやすい表現を工夫する。
- あきらめず粘り強く取り組む。

<協働学習の場面> (例)「ペアやグループで話し合ったり意見を伝え合いまとめたりする」

「チームで相談する」「役割分担して協力して取り組む」

- 自分の意見を根拠をもとに相手にわかりやすく伝える。
- 友達の見解を聞いて考えを広げたり深めたりする。
- 協力して課題解決に向けて取り組む。

<まとめ・振り返りの場面>

- 大事なポイントを色分けしてノートに記入する。
- 授業の前後の自分の変化や新たな疑問などを自分の言葉で表現する。
- 宿題を確認し、家庭学習の計画を立てる。

家庭学習時間のめやす (宿題 + 自主学習)

1年生…80分

2年生…100分

3年生…120分

STEP1 基本の学習として、まずは「宿題」に取り組む

STEP2 さらに力をつけるために、「自主学習」に取り組む

自主学習について

1. 目的

家庭学習に向かう習慣を作り、自分の長所を伸ばし、苦手を克服し、学習の力を高めることで、自分の進路を切り拓く力をつける。

2. 内容

- 1ページの授業以上の授業の予習など、自分の学習に必要なと思う内容や、疑問に感じたことや自分の興味のあることを調べてまとめるなど、発展的な内容に取り組む。
- 何が得意ようになるかという「めあて」とできるようなになったこと・難しいと感じたこと・これから取り組みたいことなど「振り返り」を記入する。

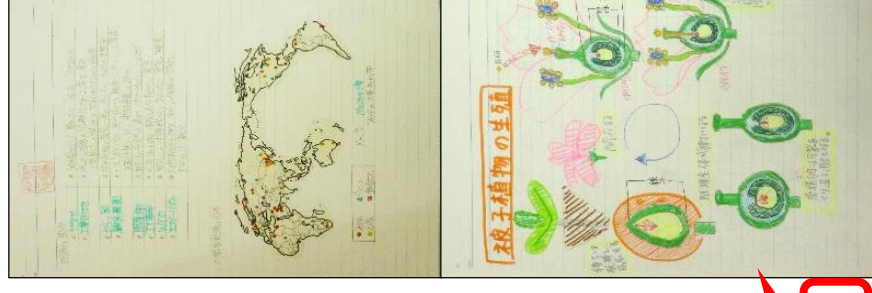
3. その他

自主学習ノートは各自で準備しましょう。

例

めあて

① When? Becauseの使い方を理解する。
 ② 和文の単語帳(英)を作る (scraped)
 ③ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
 ④ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
 ⑤ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
 ⑥ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
 ⑦ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
 ⑧ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
 ⑨ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
 ⑩ 得意な(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)



発展的な内容の例

- <国語>**
 - 国語便覧で和歌・古文をまとめる。
 - 作者について調べる。
- <数学>**
 - 授業で学習した内容を、自分なりにまとめ直してみる。
 - 自分で問題を作ることに挑戦してみる。
- <社会>**
 - 「産業」「文化」などテーマを決めて、複数の地域の様子を比較して、特色を理解する。(地理)
 - 「農業」「貿易」などテーマを決めて、複数の時代の様子を比較して、変化を理解する。(歴史)
 - 学んだことと、私たちの生活のつながりについてまとめる。(公民)
- <理科>**
 - 学習したことが私たちの生活にいかに関連があるかをまとめる。
- <英語>**
 - 基本の表現や、重要な表現等の問題演習をする。
 - 英作文や日記等、自分で英文を書く活動にチャレンジする。

振り返り

図やイラストで工夫

評価・評定について

1. 観点別評価

「知識・技能」	学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価するとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。理解を伴った知識を基に、他の場面でも応用できる知識や技能の習得状況の評価する。
「思考・判断・表現」	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」	各教科等の趣旨に照らし、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

観点ごとに「A・B・C」の3段階で評価

A：十分満足できる

B：おおむね満足できる

C：努力を要する

2. 5段階評定（観点別評価から総合的に判断する）

5：「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの

4：「十分満足できる」状況と判断されるもの

3：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

2：「努力を要する」状況と判断されるもの

1：「一層努力を要する」状況と判断されるもの

観点別評価	評定
A A A (<u>特に程度が高い</u>)	5
A A A A A B	4
A B B A A C A B C B B B B B C A C C	3
B C C C C C	2
C C C (<u>一層努力を要する</u>)	1

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
国 語	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に親しんだり、理解したりしている。古典、書写、言葉の使い方、情報の扱い方はここに含まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子(グループ活動を含む) ・定期テスト・課題テスト ・小テスト・ノート(ワークシート) ・書写
	思考・判断・表現	目的や場面、状況などに応じて、自分の思いや考えを広げたり、深めたりして表現できる。読む、書く、話す・聞く、理解するなどの表現活動はここに含まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子(グループ活動を含む) ・定期テスト・課題テスト ・感想文・作文・小テスト ・ノート(ワークシート)
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり、深めたりしながら、言葉を適切に使おうとしている。授業での様子やノートやワークシート等における記述、生徒による自己評価や相互評価等を考慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・振り返りシート等

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
社 会	知識・技能	授業で学んだ事柄の意義や特色、内容などをきちんと理解しているとともに、グラフや地図、文章資料や図などを、適切に選択したり読み取ったりすることによって、課題解決のために効果的に活用できる。基本的なグラフや表の作成ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト・小テスト ・ワークシート・授業の様子 ・振り返りシート等
	思考・判断・表現	様々な社会的事象を関連づけ、ある事象の原因・結果・理由・目的・課題・特色などを考察し、公正に判断した過程や結果を、言語活動を通して表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・小テスト ・ワークシート・レポート ・単元テスト・授業中の発言 ・振り返りシート等
	主体的に学習に取り組む態度	社会的な事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を解決しようとしている。主体的な活動の一環として、授業での様子、ノートやレポート等における記述、生徒による自己評価や相互評価等を考慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・レポート・振り返りシート等

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
数 学	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・単元テスト ・小テスト・プリント ・授業での様子・グループ活動 ・振り返りシート等
	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・単元テスト ・小テスト・プリント ・授業での様子・グループ活動 ・振り返りシート等
	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・単元テスト ・小テスト・プリント ・授業での様子・グループ活動 ・振り返りシート等

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
理科	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト・小テスト ・レポート ・授業の様子など
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、正しく表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト・小テスト ・レポート ・授業の様子など
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、積極的に実験や観察、課題に取り組もうとする。また、その過程を振り返り、改善しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・振り返りシート

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
音楽	知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などの関わりおよび音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト ・授業プリント ・授業の様子 ・実技テスト
	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト ・授業プリント ・振り返りシート ・実技テスト
	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物 ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・振り返りシート

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
美術	知識・技能	形や色などの造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・作品 ・授業の様子
	思考・判断・表現	表現の意図や工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ることができ、見方や感じ方を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・作品 ・授業の様子
	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・振り返りシート

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
保健体育	知識・技能	各種の運動を行うための高い技能を身につけている。運動の仕方やルールについて理解している。健康・安全についての知識がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・体育実技 ・ノート・振り返りシート ・授業の様子など
	思考・判断・表現	作戦を立てたり、工夫して練習することができる。自分の努力目標を理解しそれに向かって努力できる。心身の健康や安全について実生活に照らし合わせて考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート・カード ・提出物・振り返りシート ・授業の様子など
	主体的に学習に取り組む態度	意欲的に授業に取り組むことができる。準備や片づけを進んでする。安全に留意し、協力して学習しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・振り返りシート

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
技術・家庭	知識・技能	生活と技能に関する知識を理解しているとともに、実践できる技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・実技テストなど
	思考・判断・表現	SDGsの理念に基づき身近な問題や地球規模の問題を解決するための力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・定期テスト ・作品
	主体的に学習に取り組む態度	生活や技能を見直し問題解決に主体的に取り組む、SDGsを実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・振り返りシート

教科	評価の観点	評価規準	評価の方法
英語	知識・技能	英語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト ・パフォーマンステスト
	思考・判断・表現	身近な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子（スピーキング、ライティング） ・ワークシート・定期テスト ・パフォーマンステスト
	主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。主体的な学習の一環として、授業への取り組み方や様子、授業の振り返り等を考慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方、様子 ・提出物への取り組み方 ・振り返りシート

テストの受け方

1. テストが始まる前に、机の中のものを全てロッカーの中に入れる。カバンもロッカーにしまう。
2. 筆記用具(鉛筆・消しゴム・定規・コンパス等)をきちんとそろえて置きましょう。ふでばこは、カバンと一緒にロッカーの中へ。
(学校では筆記用具は貸し出しません)
3. 入室はチャイムが鳴る前に完了しておきましょう。
※始めのあいさつから終わりのあいさつまで
私語をしません。
4. 時間いっぱい問題に取り組み、解答欄に空欄を作らないように努力しましょう。
5. 不正行為、疑わしい行為(キョロキョロ)は
しないこと。
また、疑わしい行為をさせないようにしましょう。
6. ものを落としたり、質問があるときは
静かに手を上げましょう。